

／ごみ減量を目指して／ つづける、つなげる、リサイクル

生活の中でのちょっとした分別が、ごみの減量につながります。
人ごとではなく自分ごととして、ごみと向き合ってみませんか。

【問い合わせ先】環境課 ☎0968(25)7217

彫刻作品「月曜日」
制作：東 耕平さん(菊池市地域おこし協力隊)



家庭ごみ10%減量化 キャンペーン

昨年6月の環境月間をきっかけに始めた、ごみの減量を目指す取り組み「家庭ごみ10%減量化キャンペーン」。市民1人当たり1日卵1個分(60g)のごみを減らすことを目標に、市ではさまざまな啓発活動を行ってきました。

市内全ての小中学校を対象に行った講演会では、給食の食品ロスをテーマに児童・生徒へ説明し、残さず食べることの大切さを再認識してもらいました。公民館講座や出前講座ではごみの分別について説明を行い、処理にかかる費用やごみ全体の内訳を種類別に割合で示しました。会食や宴会で最初の30分と最後の10分は料理を楽しみ、食べ残しを減らす「30・10運動」も継続して実施しています。

さらに、食べられるにもかかわらず食品が廃棄される「食品ロス」の削減や、子ども食堂やひとり親の家庭を支援する団体などへの後押しを行う「フードドライブ」活動にも参加。まず

は市職員を対象に食品の提供を依頼したところ、約100種類の食品が集まりました。啓発活動をとおして、ごみ減量に対する意識は変わり始めています。

ごみは着実に減量中

活動の結果、平成30年度の市全体の可燃ごみは、平成28年度に比べ約26.6%削減できました。目標としていた家庭ごみの10%減量には及びませんでした。市全体では可燃ごみを約2%削減したことになります。

市環境課は「少しでも減量できたことが重要。今後も地道な活動を続けていくことが大切」と、ごみ減量の取り組みを続けています。

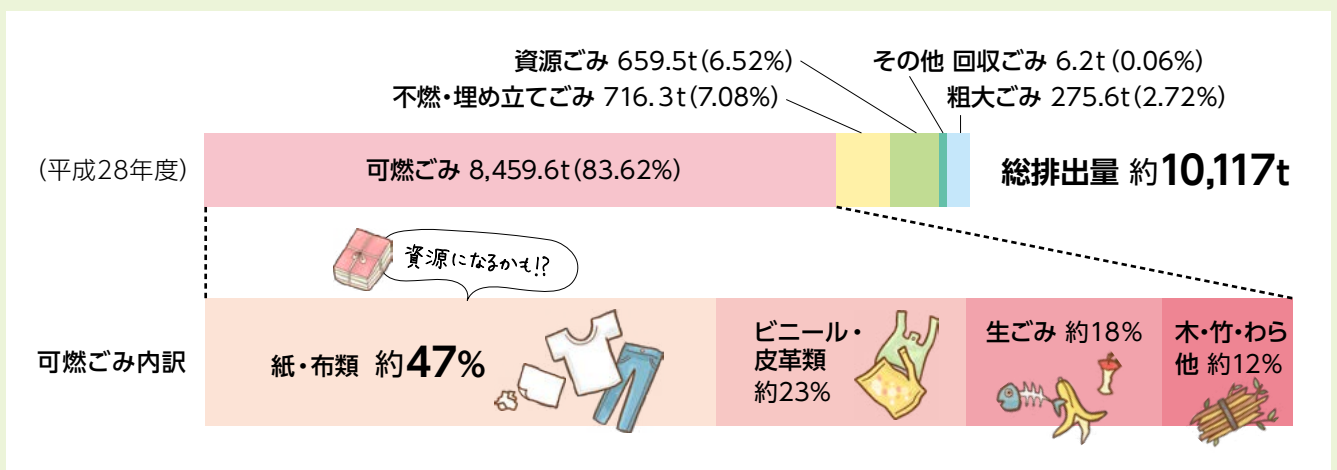


泗水小学校の講演で「家でも残さず食べます」と児童は話しました



市の家庭ごみ 排出量

市の家庭ごみの総排出量のうち、全体の約84%が可燃ごみです。紙・布類はその約半分を占めています。



無理せず、できる範囲で

分別すればごみは資源。
資源の売却と奨励金で団体の活動費などに。

紙や布類をリサイクルに

「家庭から出る可燃ごみの約半分、47%が紙・布類です。これらを分別してリサイクルを推進することで、家庭ごみが減量できると考えています」と話すのは、環境課廃棄物対策係の高木美沙参事。

「廃品回収が行われている小学校や子ども会などでは、家庭から出るごみの分別、リサイクルが進んでいます。缶や瓶など、有価物を回収する団体へ奨励金を交付する制度『資源ごみ（有価物）回収団体奨励金』もありませんので、団体の活動に役立ててほしい」と積極的な活用を呼びかけます。

「資源物回収業者や奨励金の申請に関する相談も受け付けています。申請には、交付対象となる団体かどうかの確認のほか、業者に引き渡した量が分かる取

引伝票などが必要です。新聞紙や古紙、布類が対象に含まれているため、紙や布類を可燃ごみとして出すのではなく、リサイクルを進めてほしいですね」

無理せずできることを

「普段の生活の中でのちよっ

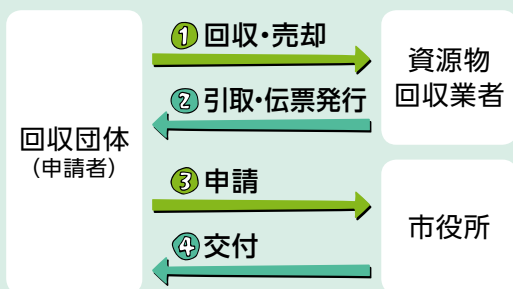
とした分別が、ごみの減量につながります。活動を続けることが大切です」と高木さんは話します。

リサイクルは無理なくできる範囲で実践することが継続のコツ。この機会に、人ごとではなく自分ごととして、ごみと向き合ってみませんか。



環境課廃棄物対策係
高木美沙参事

奨励金交付までの流れ



※紙・布類の奨励金の額 ⇒ 8円/kg (5月末現在)
※ビール瓶やアルミ缶なども奨励金の対象です。

注意事項

- 各区、子ども会、女性団体、老人会、PTA、学校が対象です。(ただし、行政区単位で9種分別立会い・指導委託事業を実施している場合は、学校、幼稚園、保育園単位でのPTA・保護者会などの団体とします)
- 団体で回収した有価物を、業者に買い取ってもらった量に対して奨励金を交付します。
- 事業を行った年度内に申請してください。
- 予算の範囲内において補助します。



地区の取り組み 七城小学校



今後も楽しく続けたい

七城小学校PTA会長 古賀修一さん(間所)

七城小は年に2回、七城地区の全域で廃品回収をしています。40年以上続く行事で、ほぼ全児童が保護者と参加。児童がいない地区も、回収日には家の前に置いてくれる人がいるのでありがたいです。回収できないものを出す人も減りました。活動をきっかけに近所の人との交流が増え、地域のつながりも深まっています。

また、奨励金制度で得た資金で児童に必要なものを購入できるので、とても助かっています。児童もリサイクルの意識が身につくので、これからも楽しく続けていきたいですね。



捨てる前に確認! 紙と布



名刺サイズより大きい紙はリサイクルできます。



タオルや衣類は必要な人に譲ったり、リサイクルしましょう。汚れがひどいものや、布団、綿入りの衣類は出せません。



種類別にまとめましょう。濡れているもの、汚れがひどいものは出せません。